

2 / 9 学校経営の説明

本日は、道足の悪い中、学習参観日にお越し頂きありがとうございます。校長の内山でございます。

さて、本年度4月22日のPTA総会の際に、保護者の皆様に、一枚の写真-ひまわりですが-をお示しました。

ひまわりの花のタネに限らず自然の中にあるものは、自然が決めたルールが働いています。ひまわりは、どの花でも、どこで咲いても、たねが並ぶ模様の線の数は、どれも同じくなります。たねが隙間なくたくさん付くための、最高のルールだそうです。

このことを、須田小の子供の指導に当てはめ、子供にとって取り組みやすい、どこでも、いつでも、だれでも取り組める、シンプルなルールを作り、繰り返し指導していけば、結果として、子供たちは学習意欲と学習の理解を深めることができると考え、様々な取組をしてみました。

ところで、先月の全校朝会の際に、自分の直したいところを「鬼」に置き換えて、子供たちに聞いてみたところ、のべでおよそ100通の手紙が届きました。一人に一回は返事のミニ手紙（鬼メール）を届けるようにしてきましたが、子供たちが挙げた「鬼」の半数は、「諦める鬼」でした。手紙には「まずあれもこれも頑張ろうという気持ちを諦めて、今できることを徹底的にできるまでやりきる」ように書きました。

今年度取り組んでまいりました取組の経過は、学級・学校だより、ホームページなどで可能な限りお伝えしてまいりました。

ただ、1年生から6年生までの年齢差、経験値、個性など、各学年の実態を考慮して取り組んでいる面もあります。また、全ての取組が全ての子供たちに「形」となって現れていないことも事実です。

全体での取組状況は、これより各主任から、学年での取組状況は、学年懇談会で、ご説明いたします。懇談会で頂いたご意見も取り入れながら、年度末までの貴重な時間の指導に生かして参ります。